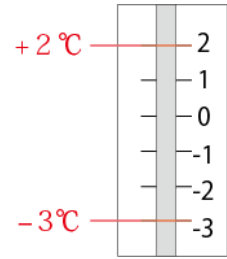


## ☆ 符号のついた数

気温  $0^{\circ}\text{C}$  を基準とするとき、 $0^{\circ}\text{C}$  より  $3^{\circ}\text{C}$  低い数を「-」（負の符号）を使って  $-3^{\circ}\text{C}$  と書き、「マイナス  $3^{\circ}\text{C}$ 」と読む。

また、 $0^{\circ}\text{C}$  より  $2^{\circ}\text{C}$  高い数を「+」（正の符号）を使って  $+2^{\circ}\text{C}$  と書き、「プラス  $2^{\circ}\text{C}$ 」と読む。

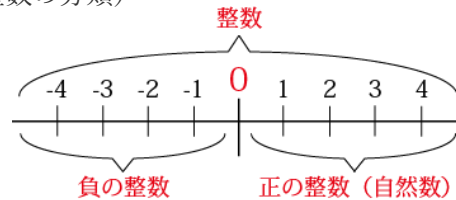


(正の数・負の数)

正の数 :  $0$  より大きい数 (例  $+3, 7, \frac{1}{2}$ )

負の数 :  $0$  より小さい数 (例  $-2, -5.6$ )

(整数の分類)



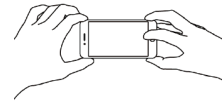
整数 : 負の整数、 $0$ 、正の整数のことをいう。

※ 正の整数は「自然数」ともいう。

デジタル板書データ (youtube動画)

『正負の数 符号のついた数』

動画QRコード



1

次の問いに答えなさい。

- (1)  $0$  より  $4$  小さい数を、正の符号または負の符号をつけて表しなさい。
- (2)  $5000$  円の収入を  $+5000$  円 と表すとき、 $2000$  円の支出はどのように表せますか。
- (3) 次のことを [ ] 内のことばを使って、表しなさい。  
1 時間後 [ 前 ]
- (4) 「 $-4\text{ m}$  短い」を  $-$  を使わないで表しなさい。